

「海洋プラスチック汚染への対応」として、社員がボランティア清掃活動

「SeaBOS 日本 3 社合同海岸クリーンアップ 2023」を開催

株式会社極洋（本社：東京都港区、代表取締役社長：井上誠）は、SeaBOS に参画するマルハニチロ(株)、(株)ニッスイと合同で、7 月 29 日（土）に千葉県千葉市にある稲毛海浜公園の海岸沿いにおいて、「SeaBOS 日本 3 社合同海岸クリーンアップ 2023」を開催しました。各社の社員らがボランティア活動として、海岸沿いのごみを回収しました。



3 社社長と参加者

本活動は SeaBOS で取り組むタスクフォースのうち、日本企業の 3 社が中心的な役割を担っている「海洋プラスチック汚染への対応」の一環として行ったもので、3 社合同で、各社社長が参加する初めての取組みです。イベントの冒頭では当社社長の井上が挨拶を行い「熱中症に気を付けてください」と呼びかけました。

当日は 3 社合計で 201 名が参加し、22kg のごみを回収しました。

<実施概要>

1. 日 時 2023 年 7 月 29 日（土）
2. 場 所 稲毛海浜公園（千葉県千葉市美浜区）
3. 参加者数 3 社合計 201 名
4. 回収したごみ 3 社合計 22kg（内訳：燃えるごみ 19.5kg、缶・ペット・瓶 2.5kg）

※同公園ルールに従って分別し、同公園にて回収



3 社社長
左から井上社長（極洋）、池見社長
（マルハニチロ）、浜田社長（ニッスイ）



清掃活動中の当社社長の井上



海岸清掃の様子



砂浜までの歩道も清掃



収拾したごみ

当社では、海洋プラスチックごみ対策の一環として、ごみの発生源から問題を解決するというコンセプトのもと、全国各地の河川域の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施しています。

今後もこれらの活動を通じて、健全な海洋環境の保全に努めてまいります。

※ Seafood Business for Ocean Stewardship（海洋管理のための水産事業）。世界の大手水産 9 社と科学者で構成された組織。科学的根拠に基づいたアプローチによる、持続可能な水産資源の活用と健全な海洋・地球環境実現に向けた課題解決を目的としている。

以上